

平成29年度行政評価シート【個表】

平成 29 年 6 月 16 日

評価対象事業		評価者	市民健康課長	石黒 知美
健福-36	重点事業	救急医療対策事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 市民健康課
	まち・ひと・しごと		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	市民の健康と安心づくりの推進

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民等の急病などに対応するため。
効果	休日・夜間の急病に迅速な対応を行う。

2 平成28年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・休日、夜間に地域医療センターで小児科を含む内科系の疾患に対し急患診療を行った。また、ゴールデンウィーク及び年末年始に小児科医師を配置し、二科体制での診療を行い、休日等にも小児患者への対応の充実を図った。 ・緊急の入院や手術が必要な患者に対し、医療体制整備を委託し、休日、夜間、土曜に内科・外科の診療を行った。 ・市民からの医療機関の問い合わせに対し、医療機関案内を行った。毎夜間(23時～翌朝9時)、土曜日(12時～18時)については、音声自動応答により救急医療機関の案内を行った。 ・休日昼間に歯科の疾患に対し歯科急患診療を行った。 ・県内の救急医療機関において、医療費の負担能力に欠ける外国籍市民が救急医療を受けたことにより発生する損失医療費について、補助金の申請はなかった。

3 事業費等基礎データ

データ区分	27年度決算		28年度決算		データ区分	29年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等の事業の対象者数	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯	人口	176,466人	81,150世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数					事業の対象者数			
運営資源状況	決算値(千円)	153,055	150,480	当初予算(千円)	180,370			
	国県支出金	5,070	5,029	国県支出金	4,988			
	地方債	0	0	地方債	0			
	その他	0	0	その他	0			
	一般財源	147,985	145,451	一般財源	175,382			
	人員配置数	0.9	0.8	人員配置数	0.8			
事業費運営	人件費(千円)	7,257	6,207	人件費(千円)	6,219			
	総事業費(千円)	160,312	156,687	総事業費(千円)	186,589			
	市民1人当りの経費(円)	904	886	市民1人当りの経費(円)	1,057			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない	
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない	
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある	
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある	
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある	
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である	
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している	
公平性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している	
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない	
		協働実施済の場合のパートナー	
事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	小児科医をこれまでのゴールデンウィーク及び年末年始に加え、インフルエンザ等が流行する時期(12月から2月)の日曜日についても、二科体制診療を実施する。また、平成29年11月以降、休日急患歯科診療所を在宅福祉サービスセンターへ移転し、障がい者歯科診療を新たに開始する。
	事業内容・予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	市民の健康と安心づくりの推進に貢献するために、市民の急病等に広く対応できるよう、更に事業を拡大していく必要があるため。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	休日夜間急患診療所及び休日急患歯科診療所は、その性質上民間などが参入する可能性も低く、市民のニーズも高いことから、今後も体制を整えていく必要がある。		

平成28年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	(休日夜間)ゴールデンウィーク及び年末年始以外の診療時間帯にも小児科及び小児科を標榜する医師を配置し、小児患者への対応を拡充する必要がある。 (休日急患歯科)障がい者歯科診療や要介護者等歯科診療など実施できるよう、解決策について歯科医師会と引き続き協議・調整を行っていく。		
課題解決のために行った平成28年度の取組	(休日夜間)平成27年度と同様に、ゴールデンウィーク及び年末年始において二科体制を実施した。また、小児患者が増加傾向にあり、ゴールデンウィーク及び年末年始以外でも小児科医を配置し、小児患者の診療に対応した。 (休日急患歯科)在宅福祉サービスセンターへの移転について歯科医師会と協議を行い、平成29年11月以降、休日急患歯科診療所と障がい者歯科診療を移転し、実施に向けて、調整を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決	
未解決の課題、新たな課題とその理由	(休日夜間急患)診療所が設置されている地域医療センターは、耐震基準が満たされていないことなどからも、移転を含め、今後のあり方について医師会と協議していくことが必要である。 (休日急患歯科)平成29年11月以降の在宅福祉サービスセンターへの移転及び障がい者歯科診療の開始に向け、歯科医師会と引き続き詳細な協議・調整を行っていく。		

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項	休日夜間急患診療所の患者数のうち小児患者が占める割合							
団体名	鎌倉市	藤沢市	平塚市	逗子市				
他市実績	58.4%	47.8%	52.3%	31.3%				

比較事項	障がい者歯科診療を実施している日数							
団体名	鎌倉市	藤沢市	平塚市	逗子市				
他市実績	×	○	○	○				
		95日	96日	95日				

比較事項	休日急患歯科診療所の患者数							
団体名	鎌倉市	藤沢市	平塚市	逗子市				
他市実績	222人	699人	1279人	202人				

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	(休日夜間)休日夜間急患診療所への小児科医の配置については、全ての市が実施している。需要の高い時期を優先的に更に高い配置率を目指す。 (休日急患歯科)障がい者歯科診療については、他市は週2日で実施している。本市は週1日で開始を予定しているが、将来的な診療日数の増について検討する必要がある。							
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	休日夜間急患診療所の小児科医配置率					単位	%	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
小児科受診者数が年々増加している傾向にあり、ニーズが高まっていると考えられるため	目標値	50.0	60.0	70.0	80.0	90.0	100.0			
	実績値	46.7	60.5	68.3						
	達成率	93.4%	100.8%	97.6%						

指標の内容	休日急患歯科診療所の患者数					単位	人	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
平成29年度に移転を行う予定であり、利便性の向上や障がい者歯科診療の開始等による利用者数の変動が見込まれるため	目標値	300	300	300	300	300	300			
	実績値	284	249	222						
	達成率	94.7%	83.0%	74.0%						

指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	(休日夜間)休日夜間急患診療所の患者数に占める小児患者数の割合は、他市との比較においても高い水準で推移しており、平成29年度からはゴールデンウィーク及び年末年始に加え、インフルエンザ等が流行する12月から2月の日曜日に小児科医を配置し、二科体制での診療を強化するが、状況を見ながら小児科医の配置率について検討する必要がある。 (休日急患歯科)休日急患歯科診療所は、平成29年度中に移転するが、移転先の建物はバリアフリーであり、開設場所が1階であることから、患者が利用しやすい環境となる。また、障がい者歯科診療の開始を予定していることから、患者数の増加が見込まれると考えられる。							
-----------------------	---	--	--	--	--	--	--	--